

## (5) 令和2年度事業計画の達成度

### ア 令和2年度基本方針に関して

#### (ア)「基本理念の周知徹底と具体化」について

各施設長は、職員が法人理念に裏打ちされた援助行動を行うことができるように、適時、適切な指導及び助言を行った。ほぼ目標を達成することができた。

#### (イ)「運営体制の強化」について

各施設長は、施設内で起きている諸問題について適切に把握し対処した。

また、法人及び各施設の長期に亘る安定的な運営を持続可能にするため、事業費、事務費などの経費の見直しを進めてきた。

#### (ウ)「地域福祉への貢献」について

地域の自治会や校区まちづくり協議会、ボランティア団体などと良好な関係を築くことにより、平常時の地域交流は順調である。

しかしながら、災害時における避難場所としての施設の提供等について、詳しい情報提供までは十分にできているとは言えない。このため、今後はさらに、地域と有意義な情報交換を行い、実践的な地域連携を基盤とした防災計画を作成することにより、相談・啓発活動に加え、より効果的な地域貢献を進めていく。

#### (エ)「法人組織の改編」について

介護事業及び保育事業の一体的管理の困難さを解消し、内部統制を強化するため、法人の新設及び分割・分離に着手し北九州市と継続的に協議を行ってきた。

令和3年度に新設法人を立ち上げて保育部門を事業譲渡するという事で北九州市からは内諾を得たところではあるが、計画達成に向けてさらに準備を進めているところである。

### イ 令和2年度事業内容に関して

新型コロナウイルス感染症の拡大禍において各事業所は、施設長および職員が一体となって万全な予防体制をとり、利用者及び職員から感染者を出すことはなかった。

理事会、評議員会及び監事監査の実施については、一部書面での開催も行ったが適宜開催することができた。

しかしながら、法人運営会議及び年末交流会については未開催となった。法人運営会議は、毎月開催することはできなかったが、各事業所からの情報を共有することにより法人運営を行ってきた。

また、地域行事や地域交流会等への参加並びに福利厚生としてJTB福祉厚生システムの実施などは低調に終わった。